



U P X M a s k

操作説明書

Ver1.01

ソフト名： UPXMask
動作 OS： Windows10/11 で動作検証済み
種類： フリーソフト
作者： 小野 (mld22567@nifty.com)

実行ファイル (exe、dll) を実行形式のまま圧縮するためのプログラムです。

1 特徴

- ・UPX は Markus F.X.J Oberhumer、Laszlo Molnar により開発された実行ファイル圧縮プログラムで、フリーソフト (GPL ライセンス) として公開されています。
- ・ウィキペディア https://ja.wikipedia.org/wiki/UPX?utm_source=copilot.com
- ・UPX は実行ファイルを実行可能なまま圧縮し、そのまま動作します。
- ・圧縮の性能はすばらしく、50%以上の圧縮が可能です。(UPXMask 自体も圧縮された実行ファイルです。)
- ・UPX は、パラメータにより速度優先、圧縮率優先を指定できますが UPXMask では簡単に操作できるようシンプルな画面構成を心がけました。

UPXMask は、以前 32bit 版として Ver3.071 までを Vector で公開しましたが、あれから 20 年近く放置している間に、ソースコードを紛失したため、64bit 版として新たに作成しました。当時と比べ、ネットスピードが速いまた、ディスク容量の心配をする必要がない昨今にあっては必要ないプログラムとは思いますが、配布・ダウンロードが軽くなる、展開が高速になる等のメリットもあるため興味のある方はお使いください。

2 デメリット

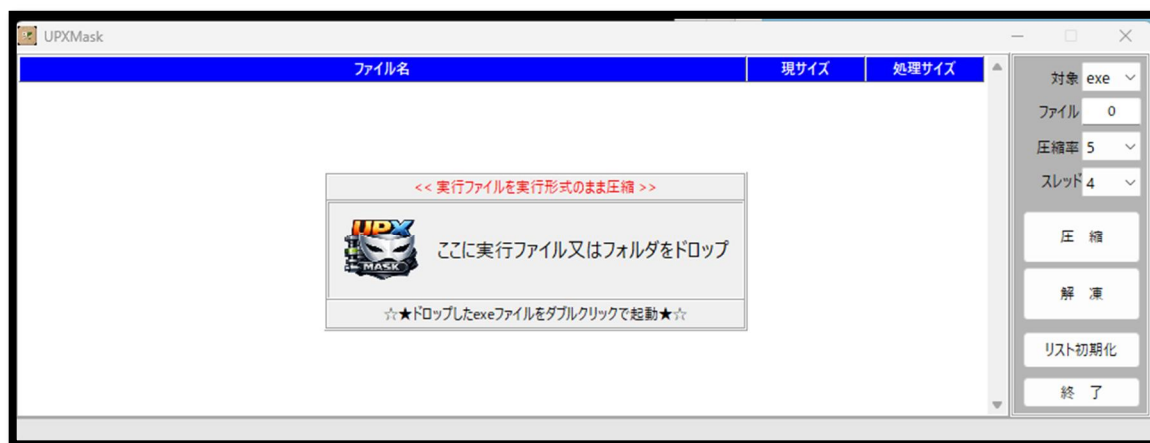
- ・圧縮された実行ファイルは、マルウェアと誤認されることがある。
- ・特定のシステムでは正常に動作しない場合がある。
- ・バイナリ構造が変わるため、管理ツールが警告することがある。

なお、これまでの経験から、個人で使用する範囲においては、上記のような問題は生じていないため過剰に反応する必要はありませんが、上記のような問題があることは認識しておいてください。

2 起動画面

UPXMask.exe を起動すると、以下の画面を表示します。

また、これ以外の画面は有していません。



○圧縮対象ファイル

- ・実行ファイルまたは、実行ファイルのあるフォルダを画面上にドロップ
- ・フォルダの場合、指定した「対象」に基づき抽出（対象：exe と dll）

○圧縮率

- ・圧縮率は、10 段階（1～10）で設定
- ・経験から圧縮率＝5 が最も効果的と思われる

○スレッド（同時処理）

- ・スレッドは、5 段階で設定
- ・高性能な PC の場合、スレッド＝10 でも問題無く処理出来ますが、スレッド＝4 であれば安定して処理が可能です。

3 その他

高い圧縮率を選定し圧縮後、プログラムが動作しないことも考えられますが、そのようなときでも解凍処理を行えば元に戻すことができます。